

桜丘中学校・梅香中学校

【第2号】

統合準備委員会ニュース

このお知らせは、「茨城町立中学校統合準備委員会」における協議の状況を、保護者の皆さまや地域の皆さまにお知らせするために発行しています。

今号では、6月28日に開催されました第2回統合準備委員会での協議内容についてお知らせします。

第1回の検討課題の整理について

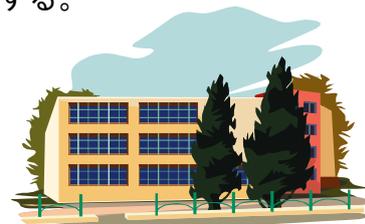
◆次のことを確認しました。

- 統合準備委員会の詳細なスケジュールについての確認を行いました。
- 専門部会の運営等について、下記のとおりとすることで、確認いたしました。
 - ・専門部会は、両校の校長を中心とした部員に一任し、協議・決定を行う。
 - ・協議の中で、統合準備委員会での決定を受けべきと判断した場合は委員会へ諮る。
 - ・決定等にあたっては、保護者や地域の方々の意見等を十分に考慮する。
 - ・委員会開催時に、それまでの部会での協議内容等を報告する。
 - ・3つの部会のメンバー構成は、部会に任せる。
 - ・部会には事務局も入り、会議の内容を記録する。



統合準備委員会での協議の様相

統合校の名称について協議！



◆第1回の統合準備委員会において、統合校の名称については、公募により名称を募集することで決定しましたので、今回は、募集要項等について協議を行い、委員から次のような意見が出されました。

- ・募集期間を夏休み期間中とするならば、告知期間を考慮し、募集要項を早急に決めなければならないと思う。
- ・全町民から意見をもらうという考えも分かるが、関係学区内に絞った方が、より真剣な意見がたくさんもらえるのではないか。
- ・卒業生については、学区外に住んでいても応募は可能か。
- ・卒業生についても、参加資格はあって良いと思う。
- ・学区外の住所であっても、応募用紙に、卒業生であることが分かるように書いてもらえれば応募資格の有無は判断できる。
- ・学区内の住民に対してしか応募資格を与えていないので、他所に住んでいる学区内の在勤者に対して、資格を与えるのはおかしいのでは。
- ・募集要項を回覧するとき、一緒に応募用紙を挟んでおけば、効率的に応募用紙を配布できるのではないか。
- ・学校名を募集するにあたって、現在使用されている学校名の使用制限など、校名に関する応募条件を決めておく必要があるのではないか。これからの子供たちのために思い、現在の校名を使用しない方がいいのではないか。
- ・統合中学校の将来を考え、良い子供たちに育ててほしいという想いを込め、両校の名前は残さず、新しい名称を考える必要があるのではないか。

- ・大洗町の募集要項では、磯浜小学校と祝町小学校の名称をそのまま使用することは不可であると書かれている。
- ・今回の校名を決定するプロセスや結果が原因で、これから入学する子供たちが、いい雰囲気の中で学校生活ができなくなるという状況は作りたくない。
- ・ここでの決定は、統合中学校の名称のみならず、その後の統合小学校の名称の決め方をも左右する、大きな決定であるという認識が必要。
- ・校名に「字名」や「地名」を入れたくないがどうか。
- ・公募なので、募集にあたり制限を加え過ぎると意見は出なくなるので、応募条件で使用制限するのは、現在の両中学校を連想させる「桜丘」・「梅香」の2点のみとし、「桜」や「梅」の文字については、使用しても良いと思う。

これらの意見をもとに協議した結果、以下のことを決定しました。

- 募集期間：平成24年7月20日(金)～平成24年9月7日(金)〈必着〉
- 応募資格：川根小・上野合小・沼前小・駒場小・桜丘中・梅香中の児童生徒，保護者
桜丘中・梅香中の卒業生(学区外在住の方も応募可)
桜丘中・梅香中学区内在住の方
- 応募条件：「桜丘」「梅香」の文字を使用することは不可。
- 応募方法：専用の応募用紙(コピー可)のほか、官製はがき、封書、ファックス、電子メールにて応募。応募は、一人につき1点。

※校名を募集するにあたっての「校名案の視点」やその他詳細については、次回改めて協議の上、決定していきます。

スクールバスについて



◆他市町村のスクールバス導入状況と当町の中学校における通学距離等の現状等について、説明をしました。

○他市町村の状況

茨城県内の公立中学校232校のうちスクールバスを導入しているのは9校(4%)です。主に、山間部等へき地の学校が多くなっています。

○当町における通学距離の現状

明光中(平均距離4.1km, 最高距離10.0km, 通学距離6km以内の割合82%)

桜丘中(平均距離4.2km, 最高距離10.0km, 通学距離6km以内の割合81%)

梅香中(平均距離3.8km, 最高距離9.0km, 通学距離6km以内の割合78%)

○スクールバス導入のメリット・デメリット

【メリット】「遠距離通学の緩和に役立つ」, 「不審者や交通事故による被害が減少し, 安全性が向上する」, 「登下校に係る安全指導の軽減」など。

【デメリット】「始業・終業時間が制約される」, 「体力低下の懸念」, 「運行時間の都合上, 放課後活動(部活動等)や学校行事が制約される」, 「停留所から遠い地域に住む保護者に不満が募る」など。

※スクールバスの導入については、早急に導入の是非を決定すべき問題ではなく、統合準備委員会で十分な検討・協議を重ねて最終結論を出していくことを確認し、継続的に検討・協議をしていきます。

次回の統合委員会は、
7月12日(木)に開催する
予定です。

桜丘中学校・梅香中学校統合準備委員会ニュース【第2号】

編集・発行：茨城町立中学校統合準備委員会

事務局：茨城町教育委員会学校教育課内

TEL:029-292-1111 内線206 FAX:029-292-8032

※ 統合準備委員会の議事録は、町のホームページでご覧になれます。